

# 各地区業況アンケート結果（29年8月調査分）

（29年8月24日）

全国鉄鋼販売業連合会

8月23日締切で、当会役員151名に対しこのアンケートを行ったところ74名の回答があり（回答率49.0%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※  $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、(数は回答実数)

## 1. 前年同月比数量増の企業は約3割

問1】貴社の7月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	13	8	35	11	7	74	76
比率	18%	11%	47%	15%	9%	DI+12	DI+12
売上金額/前年同月比	15	18	27	9	5	74	76
比率	20%	24%	37%	12%	7%	DI+39	DI+55

## 2. 赤字は1割強

問2】貴社の7月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	14	27	23	9	1	74	76
比率	19%	37%	31%	12%	1%	DI+59	DI+83

## 3. 公共建設向減少ぎみ

問3】貴社の営業窓口から見て8月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		9	30	17	1	57	-18	-5
民間建設向		19	36	7	1	63	+16	+20
自動車向		5	30	2	2	39	-3	+18
その他需要家向		11	43	9	3	66	-6	+7
仲間取引		6	38	14	1	59	-17	-17
計	0	50	177	49	8	284	-5	+4
比率	0%	18%	62%	17%	3%			

## 4. 秋需への期待膨らむ

問4】貴社における向う9月から11月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	9	42	17	3		71	76
比率	13%	59%	24%	4%		DI +80	DI +72

## 5. 需要あまり盛り上らず、若干過剰気味の雰囲気

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	品種別	A	B	C	D	E		8月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-27	-30	-24	-38	-28	-19	-26	-21	-28	-17	-31	-24	鉄筋用丸鋼			23	7	1	31	-29
-15	-15	-14	-17	-11	-5	-3	-11	-7	-8	-14	-3	構造用丸鋼		1	25	5		31	-13
-12	-8	-3	-8	-7	-5	-3	-7	-7	-7	-11	-12	平角鋼			32	3		35	-9
9	4	16	26	58	38	26	21	7	4	-18	0	H形鋼		5	23	5		33	0
-14	0	4	0	18	0	-23	-4	0	-5	-16	-26	コラム			20	3		23	-13
-8	-10	-10	7	6	2	-6	-3	-3	-7	-10	-16	小形山形鋼		1	31	6		38	-13
-18	-16	-10	7	11	7	-6	-12	-6	-10	-26	-19	中形山形鋼		1	29	7		37	-16
-24	-7	-10	3	15	10	3	-12	-9	-10	-24	-22	溝形鋼		4	27	6		37	-5
-19	-19	-14	-13	-11	-9	-20	-15	-11	-4	-19	-20	軽量形鋼C形		1	25	5		31	-13
-28	-22	-20	-20	-20	-12	-19	-10	-9	0	-9	-20	軽量形鋼広巾		1	19	2		22	-5
-44	-33	-23	-15	4	36	32	39	28	17	9	7	冷延薄板		4	27	3		34	3
-29	-20	-19	-6	-3	21	22	16	17	0	3	-12	熱延薄板			32	3		35	-9
-34	-27	-22	-7	26	62	42	58	56	30	16	-3	表面処理鋼板		3	27	3	1	34	-6
-29	-27	-22	-18	33	100	89	85	57	52	32	9	酸洗鋼板		7	26	2		35	14
-22	-24	-23	-9	3	30	38	23	14	0	-13	-11	中板		3	30	5		38	-5
-20	-24	-23	-6	-5	18	16	10	-3	-6	-8	-19	厚板		2	26	9		37	-19
0	-13	-5	-7	-11	25	22	5	-6	-6	-19	-7	極厚板		1	12	4		17	-18
-17	-14	-11	-8	-14	-11	-11	3	-7	0	-6	-11	縞板		1	29	4		34	-9
-24	-22	-23	-20	-15	-16	-18	-23	-6	-19	-16	-28	中径角		2	28	7		37	-14
-17	-12	-17	-16	-15	-16	-8	-12	0	-9	-15	-23	ガス管黒		3	29	6	1	39	-13
-25	-16	-15	-17	-13	-11	-12	-9	3	-9	-11	-21	構造用鋼管			33	5	1	39	-18
-20	-17	-14	-8	2	11	6	7	4	-1	-9	-14	計	0	40	553	100	4	697	-10

## 6. 秋需に向け価格転嫁機運高まる

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	予想していたより盛上りに欠けている。7月の出荷は落ち込んだ。
	B	市況は模様眺めの展開が続いている。スクラップ相場が強気の展開で、市況の上昇感が出てきた。しかし、中央相場が様子見で足踏み状態になっている。いつメーカー値上げの転嫁ができるのか。タイミングを見ている。
	C	道内の丸棒市況は高値が続いている。スクラップ高を受けて強含みで推移している。道央圏の秋需の様子によってはもう一段の上伸あり。
東北	A	エネルギー関係の仕事が動いている。少ない仕事を皆で取り合っているので、ゼネコンだけが儲かっているのではないか。
	B	一次加工も急に忙しくなってきた。細かい注文が多い。トラックの手配が大変である。急ぎの加工依頼が多い。支払いの不安な得意先も出てきた。今年一杯は忙しいというファブが増えてきたが、ファブの受注単価は下降気味である。
	C	秋以降、建方の物件が多く出ており、ファブでも対応できない話が出ている。県外物件が多く入っているが、商社の窓口が決まっている物件が目立ち仕事がやりづらい。
	D	状況は良くもないが悪くもない。淡々と客先が仕事を取るのを待っている。
	E	契約残を食い潰したため、9月以降の売上が心配である。新規物件の引合いは相変わらず低調である。
新潟	A	品薄感がなく、価格の値上げも勢いを欠いている。荷動きもパツとしない。
	B	細かい物件での倉出し在庫販売増に期待。
	C	やや夏枯れ状態。盆明け以降に期待するしかない。
	D	ここ数ヶ月、県内の需要は低迷している。今月もここまでのところ非常に難しい。秋需に期待している。
	E	自動車、産業機械は横ばいも季節商品や建材関連は秋需に向け増加傾向。鉄骨需要も大手ファブは関東案件中心に来年夏頃までの受注残があり、中堅ファブは2～3ヶ月であるが先の見積りも出てきている。値上げ活動は、需要が盛り上らず苦戦している。
	F	スクラップの上昇により、地場棒鋼メーカーは強気に転じた。でも、需要は出てこない。S、Hグレードファブは来年5月頃まで仕事があり、Mグレード以下の仕事は今年中まではありそうだ。
	G	春先からの停滞感変わらず推移している。単価のアップも中弛み傾向がある。9月からの仕事に若干の期待感あり。
川口		5月、6月をピークに穏やかな減少傾向。自動車向も落ち着いてきた。
神奈川		足元の需要は、本格稼動とは言えないが、ようやく兆しが見えてきそう。一方、高炉メーカーの値上げにつき、満額の転嫁が出来ていないのが課題である。
東京	A	8月に入り、雨続きで鋼板のバラだしの数量が減少。盆休み明けは引合いが活発になった。加工、工事関連は短納期の受注が多く、てんてこ舞いで嬉しい悲鳴である。長尺物の制限外積載で2度取締りを受けた。

	B	相変わらず、冷延、酸洗鋼板は市中在庫が少ない状況が続いている。その割に相場が上っていかないのは何故なのか。夏休みもあり、引合いも少なめである。
東京	C	メーカー値上げの転嫁ができず、厳しい収益になっている。
	D	値上げに一服感があるが、メーカー値上げ転嫁に動いていきたい。
	E	メーカーと流通の景況感に違いはあるが、需給バランスはとれてきている。同じ方向にベクトルを向けるかが鍵になる。
	F	建設向け需要は例年に比較して非常に多いものの進捗が遅く、出荷量が急速に伸びる事はない。
	G	店売りの状況は変わらず、低調な動きで推移している。8月も同様の動きとなりそう。
	H	オリンピック向けが出始めた。
	I	(鋼管) 7月末以降、やや荷動きは回復基調にある。溶接管品種の価格転嫁に取り組んでいるが、盆明けから本格化すると思われる。
	J	当初、建機業界が下期より減産すると聞いていたが、一転し横ばいとなったため荷動きは全体的に上伸していくと思われる。与信面では需要家が材料値上げを転嫁できない先が未だにあることで、利益が圧迫しており懸念事項にもなっている。
静岡	A	7月に入ってから中部地区の鉄骨ファブも4～6月は何だったのかと言うくらい動き始めている。H、M、Rグレードの年内の仕事は一杯状態のままである。その他の鉄鋼製品(鋼製パレット、家電向け薄板、軽量建築テントハウス等)使用ユーザーも引つ張られている感がある。残念ながら公共土木はこれからか。信用問題はどんな状況でも付きものである。同業者の廃業、合併、倒産もあり、建築関連は必ずと言ってよい程ある。人手不足問題、加工賃下降傾向が懸念される。競合先の提示単価で信じがたい金額のものがある。8月中旬に某業界紙のコラムで戦後70余年を振り返った時にいいも悪いも「戦後の鉄屋の生き様」を語る鉄鋼人がいないと掲載されていた。鉄屋になって42年経過した今、云々するような話でもない。
	B	下期に向けての物件の引合いは出てきている。積み残し分を値上げするタイミングを計っている。
	C	仕入価格の上昇に客先の転嫁が追いつかないため利益を圧迫している。鉄筋価格は漸く極端な安値が見られなくなってきた。
石川		公共工事がなかなか増えない。民間建築ではホテル着工計画が多い。製造業も一部を除いて順調でだが、人手不足でモノづくりだけに限定すると求人倍率が2.5～2.7と非常に高い。
富山	A	人手不足により、採算性が高く効率の良い物件を求める傾向が顕著になってきた。ゼネコンが中小物件を断る場合も散見される。
	B	地域の需要が停滞しているため、同業者間の競合が激しくなっている。メーカーは値上げ、値上げだが、流通は口銭確保がますます難しくなっている。
福井		新幹線延伸工事によって建築移転の鉄骨需要と更に今後は設備投資による工場新築や増築工事に期待したい。県内物件は小規模ながら若干出そうな気配であり、鋼材単価もスクラップの値上りで急に上ってきた。販売価格は、いかにスムーズで上げていくことが、今後の課題ではないか。
岐阜	A	建産機の荷動きの低調な状態は変わっていない。建築関連の荷動きは堅調に推移している。需要が小口短納期化しており運送経費も増加傾向にある。相場の停滞感があり、品種別に安値が散見されている。価格転嫁の難しい状況が続いている。

岐阜	B	売上金額は変わっていないが、売上数量が少ない状況が長く続いている。元には戻らないのか。これでも良い状況なのか、不安定で定まらない状況なのかわからない。安定した仕事がほしいが安い。
愛知	A	ユーザー各々が物件を持っているため秋にかけての動きに期待している。単価も心配していたが、スクラップ価格から見ると上になりそうな気がする。販売価格の価格転嫁の方が心配になってきた。
	B	集購は高原状態だが、マフラー主力なのでEV化の影響をもろに受けるので心配である。プロパー内では家具が先シーズンあまり良くなかった。現状は前年同月比で回復の兆しがない。自動車ではN社とM社合併の影響がどうなるのか注目している。T社の部品単価が厳しくなると報道があった。
	C	現時点では良くも悪くもない。しかし、先行きはどうかと言えば、期待できる話は少ない。とはいえ、秋需の期待は高い。それなりの数字にならないと採算も市況、価格も悪化する。その状況下で東西からの売込みが激しくなり、当地区は厳しい状況に置かれている。
	D	今月になって自動車向けのパレットが出てきており、角パイプの出荷が増えている。9月も出てきそうである。鉄骨は大型案件に一服感があるものの中小案件が活発に出てきており、秋まで順調である。メーカーは値上げを打ち出しているもののRC物件の明細の出は悪い。
大阪	A	例年、盆前は多忙であるが、今年は全般に物件が出遅れている感じである。7月中旬まではかなり暇であったが、7月下旬に入って急に忙しくなってきた。このペースで盆前、盆明けは続きそうな感じである。RC物件は公共の箱物、個人の大型住宅以外はさっぱりといった感じである。7～8階建て賃貸マンションもS造が多い。
	B	(供給面)スクラップ価格の上昇、副資材、輸送費などのコストアップにより、メーカーは値上げしてくる。(需要面)秋需に向け、盆明け以降、徐々に荷動きが良くなっている。また、先高感から在庫特約店の手当ても増えてくる。好環境で、盆明けを迎えられ、荷動きの好転とともに販売価格も強含んでいる。
	C	メーカーの値上げに対して、漸く再販の価格転嫁が追いついてきたものの荷動きは悪い。まとまった量の仕事は、安値が散見される状態である。
岡山		スクラップ高に鉄工所も値上げを感じている。仕事が順調に出ればよいのだが。まだまだである。
香川		8月は例年通りで動きは良くない。スクラップの状況等により価格はこれ以上軟化することはないと思われる。東鉄発表後は流通として採算がとれるラインまでの値上げを実行したい。
北九州	A	原料の鉄スクラップも強基調であり、H形鋼の物件価格も上ってきている。今後は安値も払拭されるように思われる。市中価格も底値感があり、盆明け以降は荷動き、価格とも復調の気配がある。先行きに対する不安はないように思われる。
	B	鉄工所はフル稼働だが空中戦が多く、特約店在庫の利用は増えていない。猛暑のせいかわ、むしろ減り気味である。収益も悪化しており、我慢のしどころである。秋需とメーカーの強腰を反映し安値の更新は避けている。
福岡		7月度は全体的に動きが鈍かった。見積り、引合い等も少なかった。半導体、自動車関連の仕事は、前月同様で年内まで続くと思う。最近、お客様が求められるニーズは短納期対応である。もちろん、品質、価格も求められる。9月以降、いろいろな案件の話があるので、楽しみである。信用問題は今のところ大きな話はないが、仲間と情報交換しながら管理していきたい。